

高校生カメサミット2012



今年の「高校生カメサミット」は、**8月5日～7日**にかけて、**大阪**（1日目）、**神戸**（2日目）、**姫路**（3日目）で行われた。淡水カメ研究の第一人者の矢部先生のもとに、カメを研究している高校生たちが全国から7校、約30名が集まってきた。その中には女子校も2校あり、全体として女子の元気さが印象に残った3日間であった。



まず、1日目は大阪府茨木市を流れる「**大正川**」でのフィールドワークだ。真夏の午後という最も暑い時間帯に胴長を履いて、川で生物の採集を行った。カメだけでなくウナギやアユなど多くの魚類も捕獲した。さらに、捕獲したカメにマイクロチップを埋め込みマーキングする実習も行った。

2日目は、会場を神戸市須磨区に移し、午前中は「須磨・ふるさと生き物サポータ」の山本さんの「須磨のカメさん復活大作戦」のお話を伺い、午後は、**須磨海浜水族館**で活動をおこなった。ここの館長さんは、ウミカメ研究の第一人者の亀崎先生だ。今回は、淡水カメとウミカメの研究者のトップの2ショットが見られるという、めったに見られない豪華な教授陣である。ここでは、各校の研究発表を行い、水族館のイルカのショーを見学した後、各自、水槽の前に寝袋を広げ、カメや魚を見ながらの就寝となった。これは、亀崎先生の特別の計らいであった。



そして最終日。電車で姫路まで移動し、**姫路市立水族館**での研修を行った。この水族館はカメの水族館として有名で、ウミカメだけでなく、イシガメ、クサガメ、アカミミガメなどを繁殖させている。目の前で雌が産卵のために穴を掘っている様子が見られたのは貴重な体験だった。

こうして、3日間にわたった「高校生カメサミット2012」は終了した。今回の参加者の中から、将来、カメの研究などに携わる研究者が誕生することを期待している。

